雲の上の町・梼原町（ゆすはらちょう）とは

高知県の西北部、愛媛県との県境の町。
雄大な四国カルスト高原を有する四国山地の山間地帯に属し、四万十川源流域の渓谷と急峻な山々に囲まれた町。

❑面積：２３６．４５㎢　（うち、９１％が森林）

❑人口：　３，２３６人　高齢化率４７．５％（R4年12月末）

高知市から９０分
松山市から９０分
宇和島市から６０分

豊かな自然が残る町

四万十川の源流域

四国カルスト高原

住民の思いを生かした街づくり

千百年の歴史ある町

津野山神楽

龍馬脱藩の道

ゆすはら座の保存活動から、建築家・隈研吾氏との交流が始まる！

椎原は、木と最初に出会った場所で「木の恩人」みたいなもの。

雲の上のホテル・レストラン」が木を本格的に使った建物の第１号で木の面白さに目覚めた。

ここ椎原で学んだ木の良さや「木を大事にして生きる」という哲学を教えてもらい、新国立競技場のデザインにつながった。あらためて椎原の町に感謝したい。

「木を大事にして生きる」建築哲学学んだ場所

椎原は新国立の原点

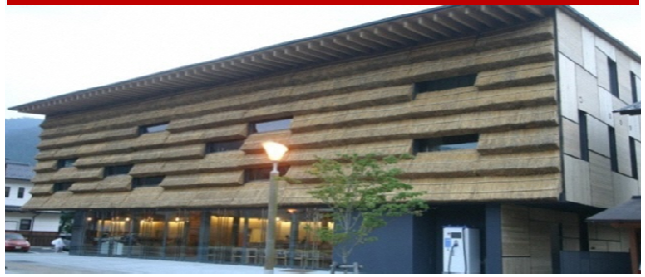
設計の隈研吾さん 思いを語る

職人、素材からも刺激

町産木材を活用し、隈研吾氏が設計した町内施設！

雲の上のホテル(現在撤去、新館建設予定)

マルシェユスハラ



椎 原 町 総 合 庁 舎

ゆすはら雲の上の図書館

雲 の 上 の ギ ャ ラ リ ー

複合福祉施設YURURIゆすはら

梼原における「環境モデル都市」の取組み

「環境対策への取組み」

私たちの町では、森、水、風、光などの自然や
それらが持つエネルギーを無駄なく使いながら
低炭素なまちづくりを進めています。

森 環境に配慮し、適切に管理された森林を活用することで資源の循環利用を行っています。

水 清流四万十川の源流域のまちとして、森が育んだ水によってエネルギーを作っています。

風 国内でも屈指の風況を誇る四国カルストで、町営の風車が環境対策の原資を産んでいます。

光 風から得た資金を活用し、太陽光発電などの地球に優しいエネルギーを使った機器の普及を図っています。

木質ペレット工場

町営小水力発電施設

町営風力発電施設

新エネ補助

2009年1月23日環境モデル都市認定

「環境モデル都市の取組み方針・目標」

“生きものに優しい低炭素なまちづくり”

◎目標

低炭素社会の実現に向けて町民との絆を強める公民協働の仕組みをつくり

❑温室効果ガスの排出量を

1990年から （23,634t-CO2）
2030年に50%（11,756t-CO2）削減
2050年に69% （ 7,282t-CO2）削減

❑温室効果ガスの吸収量を

1990年から （16,200t-CO2）
2030年に4.3倍増（69,800t-CO2）
2050年に4.4倍増（70,300t-CO2）

❑電力の自給率100%（2050年）

2012年 28.5%

これまでの取組みを継続発展させつつ
低炭素社会の実現に向け取り組む必要があります！

高知県梼原町（ゆすはらちょう）・脱炭素社会の実現について

背景

❑再生可能エネルギー自給率100％、二酸化炭素排出量実質ゼロの取組み推進

地域循環型脱炭素社会の実現

現状の課題

❑人口減少・少子高齢化
❑林業従事者の高齢化・後継者不足
❑FIT終了・再エネ設備老朽化

》

住み続けることへの不安
持続的な取組みが困難

事業の目的

❑継続的な再生可能エネルギーの利用促進並びに新たな事業取組みによる地域課題の解決

》

エネルギー地産地消・循環型社会づくり

これまでの取組

❑再エネ施設の整備・導入及び設置支援
❑林地残材等を利用した木質ペレット製造
❑環境モデル都市指定（平成21年1月）

》》

環境価値の創出
林業活性化・CO2吸収量の確保

事業内容

共生と循環 ～次世代へより良い環境を引き継ぐ社会の実現～

❑森林資源循環利用促進 》 木質ペレット工場規模拡大
❑再エネ有効活用 》》 木質バイオマス発電熱電併給事業
❑地域内循環の発展 》》 地域新電力事業

高知県椪原町（ゆすはらちょう）・脱炭素社会の実現について

得られる成果等

≪成果・目標≫

❑木質ペレット工場の生産規模拡大に伴う適正な森林整備の実施による**森林の多面的機能の発揮**。
❑再エネ設備の更新或いは新設を行うことにより、**2050年の各目標達成に寄与**。
❑地域内循環の仕組み構築により、RE100電源の供給や防災力強化が図られ、**脱炭素社会の実現に貢献**。
❑地球温暖化防止に寄与するとともに**循環型社会の構築を実現する再生可能エネルギー**として木質バイオマスの利用促進に貢献。

寄附をするメリット等

≪企業の皆さまにお願いしたいこと≫

❑企業版ふるさと納税による資金面の支援

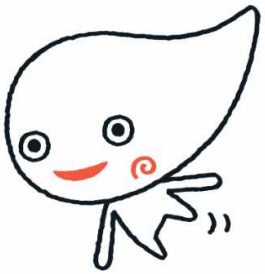
≪企業の皆さまのメリット≫

❑脱炭素社会づくりへの貢献
　☞地球温暖化防止に寄与するとともに、循環型社会の構築を実現する再生可能エネルギーを活用した事業にご寄付いただくことで**カーボンニュートラルに積極的に取り組む企業としてPRでき、環境への取組みの見える化**が可能となります。

≪企業の皆さまに提供できるもの≫

❑本町HPや広報誌へ寄付企業の皆さまを掲載。
❑本町より感謝状の贈呈など。
　椪原産原材料を使った土佐和紙の感謝状
　メディア取材を伴う贈呈式の開催

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

≪連絡先≫

椪原町まちづくり推進課
（担当：来米）
TEL　：0889-65-1111
FAX　：0889-40-2010
E-mail：110-yusuhara@town.yusuhara.lg.jp